

シリーズ「アメリカン・ディアスポラ」第3回

アメリカ大陸の基層には、移動性が組み込まれている。「アメリカン・ディアスポラ」シリーズでは、アメリカ大陸を移動・還流する人々に焦点をあて、主要な受け入れ側である北米とともに、送り出し側のラテンアメリカの双方の視点から、多様なディアスポラによる社会変化について考えてみたい。

500億ドルの送金フローを生む中南米貧困層の実態

文室 慈子

ふむろ やすこ

マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション



巨額移民送金が象徴する問題：

今日発展途上国の出稼ぎ者が母国に送る仕送りは年間総額3250億ドルに達している。貧困層のライフラインとなるこのお金は、しかし、ほとんど銀行など正規の金融システムを通らないため、経済効率が悪いままなかなか貧困削減につながらない。この問題に取り組むマイクロファイナンス・インターナショナル社の活動を通して見える現状、課題、展望を、送金に関わる人々（送る人、受け取る人、仲介する人、見張る人）をプロフィールしながら解説する。

マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション
の事業に関するビデオ上映があります。

17:30-18:20



日時：7月8日(金)

18:30-20:00

会場：博遠館 212 番教室

来聴歓迎・予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp